

第65回日本産科婦人科学会学術講演会のご案内

第65回日本産科婦人科学会学術講演会を下記のとおり開催しますので、関係各位からの演題を募集いたします。

会期：平成25年5月10日(金)、11日(土)、12日(日)

会場：ロイトン札幌、ホテルさっぽろ芸文館(旧北海道厚生年金会館)、札幌プリンスホテル、札幌市教育文化会館

第65回学術講演会ホームページ：<http://jsog.umin.ac.jp/65/index65.htm>

一般演題応募要項

一般演題(IS国外演題以外)は、インターネット・ホームページを利用したオンライン登録のみとなります。郵送による応募は受け付けません。

一般演題はすべてポスターセッションへの応募となります。ポスターセッションには、英語あるいは日本語による発表の一般演題(多施設共同研究を含む)と英語で発表する国際ショナルセッション(IS)の国内演題(IS国内演題)があります。

1. 応募方法

第65回学術講演会ホームページからお申し込みください。なお、応募者のコンピュータ環境が原因で演題の登録に不備が生じて、事務局および担当団体では一切責任を負うことはできません。

<入力画面へのアクセス方法>

<http://jsog.umin.ac.jp/65/index65.htm> から演題登録画面を選択し、入力画面に進んでください。入力画面は一般演題(症例以外)画面、一般演題(症例)画面、多施設共同研究画面、IS国内演題(症例以外)画面、IS国内演題(症例)画面の5種類あります。

2. 応募期間

平成24年8月9日(木)10:00 ~ 平成24年10月4日(木)正午

締切間際の応募は混雑し、サーバーにつながりにくいこともあります。余裕を持って応募してください。応募期間を過ぎてからのご応募には対応できません。

3. 応募資格(演者・共同演者)

1) 1演者(発表者)が応募できる演題数は「多施設共同研究」も含め1題のみです。但し、共同演者として他の演題に名を連ねることはできます。

2) 演者、共同演者ともに応募の時点で原則として本学会会員であることが必要です。連名で応募の場合に注意してください。日本産科婦人科学会への入会に必要な手続きはご所属の都道府県産科婦人科学会(旧地方部会)へお問い合わせください。会員番号取得の都合上、早めに手続きを行ってください。

但し、国外在住の本学会員でない方、あるいは国内在住の産婦人科以外の本学会員でない方(外国人留学生を含む)が共同演者になることを希望する場合にはこれを認めます。しかし、本学会員でない方が共同演者となる際には、共同演者登録料として本学会入会金および単年度年会費相当額(計19,000円)を納入する必要があります。なお、納入された共同演者登録料は演題が不採用となっても返還しません。

3) 外国人留学生が筆頭演者となる場合は、応募の時点で本学会会員であることが必要です。

- 4) ISに国外から応募される場合(IS 国外演題)は本会会員である必要はありません。IS 国外演題とは、演者および共同演者全員が外国施設にのみ籍を置く外国人研究者である演題を指します。
- 5) 「多施設共同研究」とした場合、演者の所属機関が責任者の所属機関と同一である必要はありません。

4. 応募に際しての注意事項

1) 発表形式

- (1) 一般演題の発表は以下に記載した高得点演題、ワークショップ演題、IS Award 候補演題を除き、すべてポスターとなります。ポスターは原則英語で作成してください。ただし日本語での作成も可とします。また、当日の発表は英語でも日本語でも可とします。ポスターセッションは、英語あるいは日本語による発表の一般演題(多施設共同研究を含む)と、英語で発表するインターナショナルセッション(IS)になります。
- (2) IS 国内演題は半角英数字で入力してください。発表はポスターセッション形式と同様で、発表言語は英語とします。また、IS 国内演題も IS Award の対象となります。評価の高い IS 国内演題には IS Award 候補演題として口演(発表、討論すべて英語使用)の機会を提供します。IS Award は発表当日に決定され、意見交換会で賞状と副賞を授与します。
- (3) プログラム委員会での評価が高い一般演題には高得点演題として口演の機会を与え、発表および討論に十分な時間を提供します。また、レフリーの評価が一定以上の応募演題から、ワークショップを構成いたします。高得点演題および各ワークショップでの演題のなかから、優秀演題賞を学術講演会会期中に決定し、学術講演会最終日の閉会式で賞状と副賞(楯)を授与します。演題申し込み時、「学術講演会開催年の3月31日時点で46歳未満であり、かつ、演題申し込み時点で教授・准教授でない」にチェックした者は優秀演題賞(口演)に応募したものとみなします。

2) 演題内容

- (1) 一般演題の表題、演者名、共同演者名、抄録内容、倫理的配慮、利益相反(本会の利益相反に関する指針、同運用細則による)など、演題の内容については、すべて演者の責任で確認したものを応募してください。
- (2) 応募の時点で結論が明確であり、かつ本会並びに国内外の学会で未発表のものに限ります。ただし、継続した研究の場合で新たな内容が含まれている場合、発表内容の一部が既発表のものと同様の重複することは止むを得ないものと認めます。
- (3) 倫理的配慮を必要とする研究であるか否かを研究責任者と十分に協議したうえで応募してください。特に、生体または生体材料等を用いたり、臨床試験を行う場合など、倫理上の問題が生ずる可能性がある研究には、「インフォームド・コンセント」、「所属機関の倫理委員会の承認」などを得た旨を講演要旨本文中に必ず明記してください。倫理的な内容も採否の審査対象となります。

3) 機関ごとの演題数制限

同一機関からの応募演題数の制限はありませんが、内容が互いに重複しないようにしてください。

4) 多施設共同研究

多施設共同研究として特別に応募できる演題は、次の条件を満たす演題に限ります。

- (1) 5施設(機関)以上が参加し、診断法・予防法・治療法を解明することを目的とする臨床研究であること。多施設から臨床検体(血清・組織など)を集め、検査するだけの研究は含まれません。

- (2) 応募時に研究プロトコルを提出することが義務付けられ、講演要旨と研究プロトコルで多施設共同研究としての応募資格・内容が審査されます。
- (3) 演題応募時に返信された登録確認画面をプリントアウトし、プロトコルとともに日本産科婦人科学会事務局(〒113-0033 東京都文京区本郷 2-3-9 ツインビュー御茶の水 3F)へ郵送してください(応募締切日必着)。
- (4) 演者、責任者および各参加機関の代表者は本学会会員であることが必要です。なお、多施設共同研究の場合、各参加機関の代表者名、所属機関名が多数のため、応募画面では筆頭演者のみの登録とし、各参加機関の代表者名、所属機関名は別途 CD-R、USB メモリによりプロトコルとともに日本産科婦人科学会事務局へ郵送してください。
- (5) 1 研究プロトコルでの応募は 1 題に限られます。
- (6) 多施設共同研究は IS への応募はできません。

5) 会員コード番号

会員コード番号(8桁)は必須です。不明の場合はご所属の都道府県産科婦人科学会(旧地方部会)へお問い合わせください。会員申請中および国外在住の本学会員でない方、国内在住の産婦人科以外の本学会員でない方にはオンライン登録に必要なコード番号を交付します。

(1) 会員申請中

所定の「コード番号交付申請書(会員申請中)」は第 65 回学術講演会ホームページからプリントアウトしてください。応募締切後 1 週間以内に入会手続きが終了していない場合には、演者から登録を削除します。

(2) 国外在住の本学会員でない方、あるいは国内在住の産婦人科以外の本学会員でない方(外国人留学生を含む)

所定の「コード番号交付申請書(本学会員でない方用)」は第 65 回学術講演会ホームページからプリントアウトしてください。応募締切後 1 週間以内に共同演者登録料が指定口座に振り込まれていない場合は、演者から登録を削除します。

6) 会員氏名(演者名)

会員氏名(演者名)は日本産科婦人科学会に登録されている氏名を使用し、日本語で入力してください。ただし筆頭演者名については日本語と英語の両方で入力してください。なお、応募された氏名と本会に登録されている氏名が異なる場合(特に漢字の異体字)には、本会に登録されている氏名に変更することがあります。

(例：斉藤、斎藤、齋藤/渡辺、渡邊、渡邊、改姓された場合)

7) 所属機関名

機関名(大学、病院、医院、診療所、センター、研究所など)は以下の規定に従い日本語で入力してください。ただし、筆頭演者の所属施設については日本語と英語の両方で入力してください。

- (1) AA 大(AA University), BB 医大(BB Medical University), CC 病院(CC Hospital)のように入力してください。
- (2) 機関ごとに表示法を統一してください。
- (3) 所属機関の都道府県名をリストから選び、入力してください。
- (4) 産婦人科、産科、婦人科、母子科、周産期科、小児科、病理などの場合はリストから選択し、それ以外の場合は「その他」から部科名を記入してください。

8) 演題分類の選択, 構成

(1) 発表を希望する主題群(演題分類)を各コードより1つずつ選択してください。演題分類は学術講演会プログラム作成上の都合で希望項目から変更される場合があります。

コード1	コード2
1. 婦人科腫瘍	1. 子宮頸部悪性腫瘍
2. 生殖・内分泌	2. 子宮体部悪性腫瘍
3. 周産期	3. 卵巣腫瘍
4. 女性ヘルスケア*	4. 悪性腫瘍全般**
5. IS:GYNECOLOGIC ONCOLOGY	5. 子宮筋腫
6. IS:REPRODUCTIVE ENDOCRINOLOGY	6. その他の良性・悪性腫瘍
7. IS:PERINATOLOGY	7. 子宮内膜症・腺筋症
8. IS:WOMEN'S HEALTH CARE	8. 生殖生理
	9. 生殖内分泌
	10. 不妊症
	11. 生殖補助医療
	12. 不育症
	13. 妊娠・分娩・産褥の生理
	14. 妊娠・分娩・産褥の病理
	15. 胎児・新生児の生理
	16. 胎児・新生児の病理
	17. 妊娠高血圧症候群
	18. 早産
	19. 合併症妊娠
	20. 胎盤
	21. 思春期
	22. 更年期・老年期
	23. 感染症
	24. その他(乳房, 避妊を含む)

*更年期医学など女性のヘルスケアに関する研究

**複数の婦人科腫瘍に関する横断的研究

(2) 演題の構成を以下の3項目より1つ選択してください。

1. 臨床分野のみで構成
2. 基礎と臨床にまたがる構成
3. 基礎分野のみで構成

9) 演題名

日本語と英語の両方で入力してください。日本語での演題名は全角90文字以内、英語での演題名は半角180文字以内でタイトル(副題を含む)を付けてください。

10) 抄録本文

(1) 本文は日本語での入力とし、700字以内にまとめてください。記入欄は症例と症例以外にわかれているので該当する入力画面を選択してください。症例以外の入力欄には【目的】【方法】【成績】

【結論】の4項目があり、症例の場合は入力欄が一つです。ご注意ください。

- (2) 700字を超えた場合は登録が受け付けられません。
- (3) 演題名、所属機関名、演者名は本文中には記入せず、所定の欄に入力してください。演題名、所属機関名、筆頭演者名については日本語と英語の両方で入力してください。
- (4) 漢字、ひらがな、カタカナは1文字として数えますので全角で、数字、欧単語のアルファベット、記号、スペースなどは1/2文字として数えますので半角でそれぞれ入力してください。なお<および>の記号を使うときは全角で入力してください。
- (5) 先頭行は1マスあけずに左詰めで入力してください。
- (6) 本文中に図表、写真を入れないでください。
- (7) 使用可能な特殊記号や特殊文字は学術講演会ホームページの「特殊文字リスト」をご参照ください。応募画面にコピー用の欄がありますので、このリストから「コピーしてペースト」とすると正確に抄録を作成することができますのでご利用ください。また、ローマ数字(I, II…)は入力できません。IIはII, IVはIV, IXはIXのように半角アルファベット大文字を組み合わせで入力してください。なお、ISに応募する際は、文字は全て半角となり、日本語による抄録の入力方法と多少異なる点もありますので、応募画面に記されている文字の入力方法をご参照ください。

以下の記号を用いるときは下記の文章に従って作成してください。また、

<I></I><U></U>は必ず半角文字を使用してください。

- ◆上付き文字が必要なときは文字の前後を^とで囲ってください。

(例)Na⁺はNa⁺となります。

- ◆下付き文字が必要なときは文字の前後を_とで囲ってください。

(例)H₂OはH₂Oとなります。

- ◆イタリック文字が必要なときは文字の前後を<I>と</I>で囲ってください。

(例)<I>c-fos</I>は*c-fos*となります。

- ◆太文字が必要なときは文字の前後をとで囲ってください。

(例)boldは**bold**となります。

- ◆アンダーラインが必要なときは文字の前後を<U>と</U>で囲ってください。

(例)<U>アンダーライン</U>はアンダーラインとなります。

- ◆抄録本文内で改行を入れたいところには、改行したい文の頭に
を入力してください。

※上記の記号との混乱を防ぐため、抄録本文内で<および>の記号を使うときは、必ず全角の<および>を使ってください。

(例)× p<0.05 ○ p<0.05

- (8) 他のアプリケーションソフトで作成した本文を「コピーしてペースト」した場合、ある種の特殊文字が正しく表示されない場合がありますのでご注意ください。
- (9) 以下の項目に該当する演題は研究内容が優れていても不採用となりますのでご注意ください。
 - (a) 演題中に、発表者、発表施設を特定する内容が記載されている演題
 - (b) 倫理委員会の承認あるいはインフォームド・コンセントを得るべきと考えられる研究について、倫理委員会の承認あるいはインフォームド・コンセントを得た旨の記載がない演題
 - (c) 前方視的無作為試験であって、倫理委員会の承認(インフォームド・コンセントの取得を含む)を得た旨の記載のない演題

- (d) 患者個人情報保護の点から問題があると判断される演題
- (e) 特定企業のコマーシャルを目的とすることが強く疑われる演題
- (f) 上記以外で、倫理的に明らかな重大な問題があると判断される演題

11) 倫理に関するチェック項目

倫理に関するチェック項目は以下の通りです。

- (1) 本研究は、ヘルシンキ宣言、実験動物の飼養および保管等に関する基準、各施設あるいは各専門研究分野で定められた実験ならびに研究指針および基準等を遵守した博愛の精神に基づいて行われたものである。
- (2) 抄録に記載した内容については、倫理上の問題も含めて、すべて応募者が責任を負うことを承諾します。

なお、倫理上の配慮が必要な場合には、施設内倫理委員会等のしかるべき機関の承認を得、その責任の下で実行された研究であること、あるいはインフォームド・コンセントを得たことを抄録本文中に記載してください。倫理上の配慮が十分でない研究は不採用となります。また、必要に応じて倫理的問題に関して修正を求めますが、従わない場合も不採用となります。

12) 利益相反自己申告書

利益相反状態の開示に関しては以下の通りです。

- (1) 演題応募時に研究が臨床研究(ヒトまたはヒトから得た検体に関する研究)であるか否かに関して、Web上で「はい・いいえ」のいずれかをチェックしてください。
- (2) 臨床研究で「はい」の場合のみ、利益相反状態に関して「あり・なし」のいずれかをチェックしてください。
- (3) 利益相反状態が「あり」の場合は、筆頭演者は「筆頭演者の利益相反自己申告書」を演題応募期間内にプログラム委員会*に提出してください。提出がない場合、演題応募は認められません。
- (4) 「筆頭演者の利益相反自己申告書」は学術講演会ホームページからダウンロードできます。
- (5) なお利益相反状態の開示に関しては、すべて当学会の「利益相反に関する指針および同運用細則」に拠ります。
- (6) 演題発表時の開示方法は学術講演会ホームページをご覧ください。

13) 演題取り下げに関する注意

応募後に演題を取り下げる場合はすみやかにプログラム委員会*に文書で連絡してください。なお、平成24年12月20日以降は取り下げた場合であっても抄録集(日産婦誌第65巻第2号)に掲載されますのでご注意ください。

5. 演題受領の確認方法および注意事項

- 1) 演題受領通知のハガキは送りません。
- 2) 登録時には演題受付番号が自動発行されます。また、自分で本人専用の演題パスワードを設定する必要があります。前出のアクセス用パスワードとは異なりますのでご注意ください。
- 3) 応募が登録されると、ブラウザ上に演題受付番号と演題パスワードが記入されている登録確認画面が表示されます。これを受領の通知といたします。また、指定の電子メールアドレス(携帯電話メールアドレスは不可)へも送信しますので、電子メールアドレスは正しく入力してください。
- 4) 「内容を確認する」画面で確認し、必ずプリントアウトして保存してください。
- 5) セキュリティーの関係から、演題受付番号と演題パスワードの問い合わせには応じられませんのでご注意ください。

- 6) 入力漏れがないよう注意してください。応募要項が守られていない場合は応募とはみなされず再入力が必要です。登録確認画面が届かない場合は、「未入力欄がある」、「文字数制限をオーバーした」等の原因が考えられます。エラーメッセージを確認のうえ再度新規登録をしてください。
- 7) 一度応募し受領された演題は、応募期間内であれば内容の更新が可能です。入力項目を修正する場合は、演題登録画面の「更新」画面にて行ってください。変更後は「内容を確認する」画面で確認、必ずプリントアウトして保存してください。
- 8) 登録ボタンの2度押し等による二重登録にご注意ください。
- 9) 事務局および担当団体では一切原稿訂正等の対応はできませんので十分ご確認ください。
- 10) 応募演題に関して筆頭演者に連絡をとる場合がありますので、連絡先は誤りなく入力してください。

6. 修正期間

応募締切後に応募内容の確認と修正が行える修正期間「平成24年10月5日(金)10:00～平成24年10月10日(水)正午まで」を設けました。入力漏れ、文字化け等を確認し、修正があれば応募者が修正してください。文章の誤り誤字脱字について、事務局および担当団体では修正をいたしませんので十分に気を付けてください。なお、この期間に新規の応募はできません。

7. 演題採否と通知

- 1) 演題採否通知のハガキは送りません。
- 2) 一般演題の採否はプログラム委員会での厳正な審査のうえ、平成24年度第3回理事会(12月15日)で決定します。なお、症例報告に関しては、症例報告以外の基礎的・臨床的研究より採用率を低くする可能性がありますので、ご承知おきください。演題申込みの際の発表分野などに関しては希望に添えない場合もありますが、予めご了承ください。
- 3) 平成24年度第3回理事会終了後、採用された演題受付番号を第65回学術講演会ホームページで12月17日に公開し、採否結果の発表とします。応募者は演題受付番号を控えておいてください。
- 4) 発表日時・会場は、第65回学術講演会ホームページ、日本産科婦人科学会雑誌の抄録号(65巻2号)をご覧ください。閲覧の準備ができ次第ご案内いたします。

*＜プログラム委員会連絡先＞

〒060-8638

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学医学部産婦人科学講座

担当：金内 優典

第65回学術講演会プログラム委員会事務局

TEL：011-706-5941

FAX：011-706-7711

E-mail：65nissanfu@med.hokudai.ac.jp